

豊田信用金庫と地域社会

当金庫の地域経済活性化への取り組みについて

社会的責任と地域貢献活動

当金庫は主に西三河を中心に、名古屋市（一部の地区を除く）等の地域を事業区域として、地元の中小企業者や地域の皆様が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営する相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄をお手伝いするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や地域の皆様と強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供に止まらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

◆ 開示項目（2021年9月末）

預金・貸出金の状況
貸出金業種別の内訳
自己資本比率
金融再生法に基づく開示債権
有価証券の時価情報

経営理念

豊田信用金庫は、地域の皆様にお役に立つコミュニティ・バンクを目指し、「貢献」「健全」「幸福」を経営理念として、地域にあって地域とともに歩んでまいります。



基本姿勢

お客様とふれあい

お客様と考え

お客様と歩む

地域密着型金融の取り組みについて

1. 目指す姿：地域ナンバーワン金融機関

信用金庫を取り巻く経営環境は、間接金融から直接金融への流れ、グローバル化やIT化の進展、他業態からの金融業界への参入など、大きな変化にさらされています。

こうした環境下において、これまでの経営モデルを見直し、業務の広範囲において新しい取り組みを始めることが必要となっております。今後も創意工夫をこらし、お客様のニーズにお応えするとともに、地域貢献活動やコンプライアンス・CS活動を徹底し、地域ナンバーワン金融機関を目指してまいります。

2. 地域密着型金融の取り組みについて

当金庫が取組む地域活性化のポイント

(1) 豊田市協働によるまちづくりパートナーシップ協定締結

当金庫は豊田市、豊田商工会議所と緊密な連携と協力の下、幅広い分野の様々な取り組みにおいて、相互の経営資源を最大限有効に活用し、協働による豊田市のまちづくりを推進するべく、2015年7月3日に3者による包括協定を締結いたしました。

(2) 成長可能な中小企業・事業を発掘・発見・育成（経営革新計画、各種補助金申請書作成支援や6次産業化支援等）します。

(3) 自動車部品等のもの作り技術や建設機械設備等を活用した事業転換・起業を側面支援することにより、地域内の事業所先数を増加させます。

(4) お客様のビジネスチャンスの獲得・拡大を国内外関係当局、支援機関、海外現地銀行、海外工業団地等と密接に連携し、アジアビジネスおよびその他の海外ビジネスをサポートします。

「新輸出大国コンソーシアム」（経済産業省）の支援機関として登録（2016年2月）

① 進出国・地域の情報提供

③ 現地の工業団地等物件の紹介・現地コンサルタントの紹介

⑤ 現地で資金調達支援

② 現地銀行口座の開設支援

④ 海外貿易投資ニュースの発刊

⑥ 海外との輸出入取引の支援（販路拡大・輸出入手続等）